



もも栽培だより

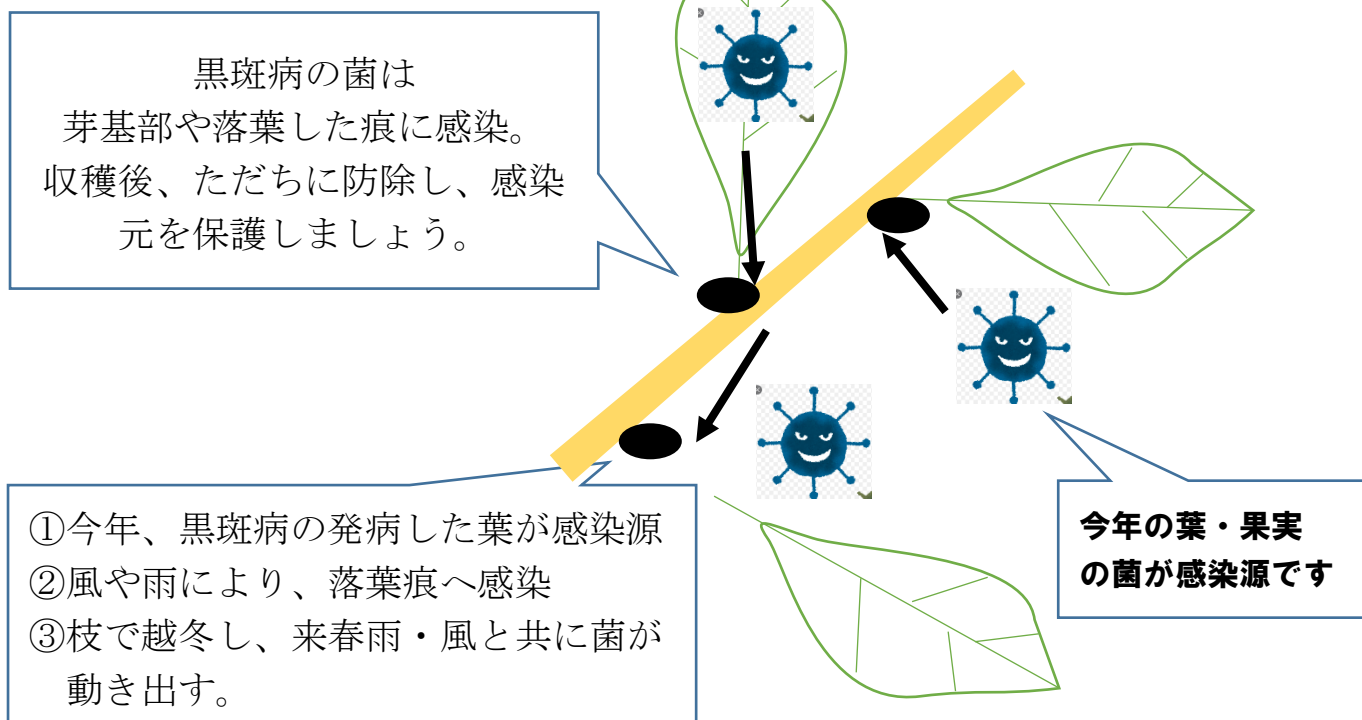


《収穫後防除(せん孔細菌病)について》

1.「せん孔細菌病」秋の感染について

来年の春に発生する病斑は、今年の秋に感染します。今からの感染は、落葉した痕から感染します。

健全な葉と病気になった部分両方に薬液がかかるように、収穫終了後、ただちに防除を実施しましょう!!



2.病虫害防除について【秋防除が最も重要です！】

散布時期	適用病虫害	薬剤名及び濃度 (水 100L あたり液量)		収穫前 日数	総使用 回数
収穫後	—	1. 展着剤 (アビオン-E)	1,000 倍 (100mL)	—	—
	せん孔 細菌病	2. IC ボルドー412	30 倍 (3.3 kg)	—	—
	モモハモ グリガ	3. スミチオン水和剤 40	1,000 倍 (100g)	3 日前 まで	6 回 以内

※IC ボルドー412 に替えて、クレフノン 100 倍加用のコサイド 3000、2000 倍 (収穫後～落葉まで、—) または、クレフノン 100 倍加用のクプロシールド 1,000 倍 (—、—) を使用してもよい。

※せん孔細菌病の発生が多い園地では、今回防除の 14 日後に展着剤 (アビオン-E) を加用し、IC ボルドー412 30 倍 (—、—) を追加で散布する。

来年度に向けて防除を行いましょう！

JA さがえ西村山 営農企画部 営農指導課